

## 解答

一

- ① 貯金 ② 静観 ③ 綿密 ④ 收拾 ⑤ 成績 ⑥ 潮流 ⑦ 發揮 ⑧ 採る  
 ⑨ ぞつさ ⑩ いさぎよ〔く〕

二

- 問1 4  
 問2 3  
 問3 2  
 問4 3  
 問5 優子のことがいちばん可愛い  
 問6 4  
 問7 「よく来てくれましたね」と迎えてくれる  
 問8 風美が泣いて謝ると思ったのに家を飛び出し心配させられたから。

三

- 問1 3  
 問2 急いでいる時はゆっくりと進んだ方が早く着くということ。(27字)  
 問3 4  
 問4 1  
 問5 聖書  
 問6 1  
 問7 1  
 問8 そのすべてを  
 問9 4

## 解説

二

- 問4 「川上のおばさん」は「風美」に対して優しく接しており、また、「風美」も慕っている。「ゆうこちゃん」は、「風美」の態度が気に入らないでいます。  
 1 「礼儀正しい『風美』に好感を持っており」が×。  
 2 『風美』の無邪気な考え方にいらだち、子どもっぽいと思っている」が×。  
 4 『川上のおばさん』は、『風美』をうとましく感じていて表面的に優しくしているだけ」が×。  
 問5 本文後半の家出をする場面で、「河上のおばさんはゆうこちゃんがいちばん好きなのだ」と思い返しています。この表現を参考にしましょう。  
 問6 いつも怒ってばかりのおばあちゃんに近寄りたく思っています。一方で、ゆうこちゃんの家の雛飾りの「最上段には黄金の金具で飾られた黒塗りの屋根の御殿」があったが、おばあちゃんの雛飾りには、それがなく、おばあちゃんが「小鼻をふくらませて自慢した」意味が分からなかったからです。

三

- 問2 本文の映画のワンシーンの「こういう科白を、文明批評というのでしょいか。」と述べています。本形式段落は、直前の形式段落の内容を具体的に説明するために、例示として使われています。前段落では、「現代社会の生活には、速さに対する一種の信仰のようなもの」があり、「だれも彼も忙しく、なにかに追いまくられているように先を急いでい」ますが、「絶えずこれほど急ぐ必要はあるのかどうか。」と批判的な考え方を示しています。「急がば回れ」ということわざも、「兎と亀」の昔話も現代社会に対する批判的な具体例ですね。  
 問3 「ノートをとらなければ忘れてしまうようなことは、重要ではないので、忘れてしまったほうが衛生的であ

る。重要なことは忘れることはないので、ノートをあえてとる必要はないであろう。」という意味です。

問6 どのような思想も、「一面的で」あり、「円満で誰にでも便利な思想」等あるはずもない。ある思想が問題を特定のものに絞ったからこそ、優れて思想が生まれたのだということ。

問9 4つの選択肢が、「本を繰り返し丁寧に読むことは」という書き出しで書かれています。また、本文の一番最後の一文に、「基本的な社会の構造、基本的な構造の動き方を理解」することが大切であることが書かれています。「長い目で見れば、時間の経済になる（節約できる）」ということですね。

- 1 古典を理解することが、本を読む目的ではないので、×
- 2 書かれていません。
- 3 「自分の仕事を円滑に進め成功に導く」ことが、本を読む目的ではありません。